



◀ 広報紙がスマホで  
読めます(10言語対応)

# 一人でも多く、遺族の元に



職員により、昨年度のものから貼り直される今年度の納骨名簿ポスター／7月15日・市役所市民ロビー

この記事は、主に右記  
SDGsのゴールの達成に役立つものです。  
【SDGs・持続可能な開発目標】

16 平和と公正を  
すべての人に

平和記念公園内にある原爆供養塔には、原爆死  
没者約7万柱の遺骨が安置されています。

市は、そのうち氏名が分かっているながら引き取り  
手のない814柱の遺族を探しています。

☎原爆被害対策部調査課(☎504-2191、☎504-2257)



被爆当時、現在の原爆供養塔付近には慈仙寺という寺が  
あり、多数の遺体が収容され火葬が行われていました。  
その後、市民の寄付などにより、仮供養塔、仮納骨堂・礼  
拝堂が建立され、昭和30年に市が中心となって、地下に  
納骨室がある現供養塔を建立しました。各所に散在して  
いた引き取り手のない遺骨は、ここに納められています。

## 名簿のポスターを 全国に発送

市は、原爆供養塔の納骨名簿を作成し、毎年7月初旬、お一人お一人  
の名前を記した名簿のポスター(上写  
真)を全国の自治体などへ発送して  
います。市内では、区役所や公民館  
などの施設に発送。人通りの多い場  
所などにポスターを掲示し、名簿の  
氏名や住所、遺族に心当たりがない  
か、今一度、見つめ直してもらおう  
呼び掛けています。

この名簿は、昭和43年から公開を  
始め、終戦40周年の昭和60年を契機  
に、全国へ発送するようになりました。  
納骨された氏名が分かっている  
2,437柱のうち、これまで遺族が判明  
したのは、1,623柱。うち、1,001柱の遺

骨が遺族に引き取られています。

## 名前の表記が違うことも

年々、遺族が判明することは少な  
くなっていますが、直近3年間では、  
お二人の遺族に遺骨を返還しまし  
た。共通しているのは、名簿の名  
前と実際の名前が少し違っていた  
ことです。

昨年、遺族が判明した「梶山ハル」  
さんは、当時住んでいた住所ととも  
に「鍛冶山はる」という名前で、名簿  
に記載がありました。新聞社から名  
簿のことを聞いたひ孫の修治さん  
が市に問い合わせ、調査の結果、遺  
族であることが確認されました。

あの日から76年、梶山さんは、修  
治さんの父、孫の武人さんの元に帰  
ることができました。

今一度、名簿を  
ご覧ください

聞き取りや  
メモ書きで残  
された名前な  
どは、被爆後  
の混乱で、漢  
字や読みが間違っ  
て記載されてい  
ることもあり  
ます。名前が少  
し違うからと諦  
めず、少しでも  
気になることが  
あれば、ぜひお  
問い合わせくだ  
さい。詳細を調  
査します。



調査課  
三波主事

市HP ページ番号  
15518

